

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田市国民健康保険仁摩診療所			No.	201
大分類	08医療系施設				
小分類	診療所				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり

担当部署名	健康福祉部医療政策課
ブロック	仁摩
地区	仁万

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	仁摩地域における医療提供体制の維持・確保に必要な施設であるため、現状規模もしくは規模を縮小したうえでの継続整備が望ましい。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
	指定管理更新								
評価が達成される年度		2029 年度以降			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況		
第2期	2022年度	2021年度 空調改修実施（コロナ交付金）	
	2023年度	次期の指定管理更新に向け、管理者と協議	目標・取り組みを達成
	2024年度	指定管理更新（R6.4.1～R11.3.31）に向け手続き中	

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成11年
建物延面積	663.27 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市国民健康保険診療所の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	主に地域住民の医療施設整備のため。また、医療、保健、福祉の総合的サービス提供体制の充実を図るため。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他	5,959,914円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計		5,959,914円	※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他	5,959,914円		上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計		5,959,914円	※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	祖式診療所		No.	202
大分類	08医療系施設			
小分類	診療所			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無

担当部署名	健康福祉部医療政策課
ブロック	高山
地区	祖式

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	今後の施設修繕にかかる費用を想定しながら、診療所周辺施設（まちづくりセンター等）との複合化などの検討を行ったうえで方針決定する必要がある。また、現在、社会医療法人仁寿会が指定管理者として本診療所における診療を行っており（9/1以降は同法人による巡回診療に変更）、同法人による今後の診療体制等を含めた協議・検討が必要となる。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	指定管理更新								
評価が達成される年度		2029 年度以降			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成9年
建物延面積	157.68 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市診療所の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	地区住民の健康増進を図るとともに、地域医療の充実確保を図るために医療施設として設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田市国民健康保険池田診療所			No.	203
大分類	08医療系施設				
小分類	診療所				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり

担当部署名	健康福祉部医療政策課
ブロック	三瓶
地区	池田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	池田地区における医療提供体制の維持のためには施設の現状維持が望ましいが、将来的な施設修繕にかかる修繕費や建替えにかかる概算工事費などを勘案しながら、診療所周辺施設（まちづくりセンター等）との複合化などについても検討を要する。三瓶地区内の他の診療所（山口、志学）と併せて検討を進める必要があり、また、診療機能をどの程度確保していくのか（レントゲン等医療機器、診療日数等）についても方向性を決める必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	評価が達成される年度	2029 年度以降			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	2020年度 国保直診として開設。安定運営を目指す。		
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成5年
建物延面積	103.92 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市国民健康保険診療所の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	主に地域住民の医療施設整備のため。また、医療、保健、福祉の総合的サービス提供体制の充実を図るため。
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金	550,000円		国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他	18,404,636円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計		18,954,636円	※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用	16,500円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他	18,938,136円		上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計		18,954,636円	※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	山口診療所		No.	204
大分類	08医療系施設			
小分類	診療所			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無

担当部署名	健康福祉部医療政策課
ブロック	三瓶
地区	山口

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	診療所周辺施設（まちづくりセンター、北三瓶小中学校等）との複合化などを検討したうえで方針決定することが必要。三瓶地区内の他の診療所（池田、志学）と併せて検討を進める必要がある。現在、市内の石田医院によって週1回の診療が行われており、方針決定にあたっては、施設を維持しないこととした場合に新たに巡回診療等として存続させるか、その場合の実施施設はどうするかといったことも、同時に検討・協議を行うことが必要となる。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	評価が達成される年度	2029年度以降			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和63年
建物延面積	24.90 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	土砂災害警戒区域、急傾斜地警戒区域

関連条例等	大田市診療所の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	地域医療の充実確保を図るために医療施設として設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	湯里診療所		No.	205		担当部署名	健康福祉部医療政策課	
大分類	08医療系施設							
小分類	診療所							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称				改定・見直し 時期		
	有	計画名			計画期間			
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由		

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	診療所周辺施設（まちづくりセンター等）との複合化などを検討したうえで方針決定することが必要。現在、本診療所では、仁摩診療所の指定管理者である医療法人銀泉会による週1回の診療が行われており、そもそも診療所として存続させるべきか、存続させない場合は巡回診療等として診療を継続できるか（するのか）、その場合の実施施設をどうするかといったことについて、銀泉会と協議を行ったうえで方針決定することとなる。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
	利用開始							
独自	用途廃止・解体工事							
評価が達成される年度		2029年度以降			←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度	仁摩診療所の次期指定管理更新に併せ、管理者と協議。	目標・取り組みを達成	現時点においては、引き続き湯里診療所における巡回診療を継続する。
	2023年度	仁摩診療所の次期指定管理更新に併せ、管理者と協議。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和60年
建物延面積	199.90 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	土砂災害警戒区域、急傾斜地警戒区域

関連条例等	大田市診療所の設置及び管理に関する条例
設置(目的等)	地域医療の充実確保を図るために医療施設として設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田市国民健康保険仁摩診療所医師住宅			No.	206	担当部署名	健康福祉部医療政策課
大分類	08医療系施設						
小分類	診療所						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名				計画期間	改定・見直し 時期
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由	

担当部署名	健康福祉部医療政策課
ブロック	仁摩
地区	仁万

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	現状として必要な施設であるため、当面は小修繕を行いながら継続して使用する。廃止時期については未定。家屋の修繕計画等を考慮したうえで決定する。施設の廃止後は、民間施設の借り上げや家賃補助などを検討する。仁摩診療所の指定管理者である医療法人銀泉会と協議を行う必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度	仁摩診療所の次期指定管理更新に併せ、管理者と協議。	目標・取り組みを達成	当面は現状により医師住宅として使用する。
	2023年度	仁摩診療所の次期指定管理更新に併せ、管理者と協議。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成10年
建物延面積	159.17 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	土砂災害警戒区域

関連条例等	-
設置(目的等)	地域医療の充実確保を図るために、赴任医師の住居として設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	336,000円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		336,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	234,300円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		234,300円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		101,700円	市民一人あたり税金充当額	3円/人
	延床面積あたり税金充当額		639円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	279円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	井田診療所		No.	47
大分類	08医療系施設			
小分類	診療所			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	—	今後の策定予定の有無

担当部署名	健康福祉部医療政策課
ブロック	温泉津
地区	井田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模建替え	担当課の現時点の見解
								①廃止 済
『該当する』を 選択した理由								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2020年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	2020年度 まちセンへの機能移転・解体		
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 37 年
建物延面積	157.75 m ²
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	土石流警戒区域内に立地

関連条例等	-
設置(目的等)	-
適正化計画上の実施方針	近隣他施設内への機能移転を行い、現施設は廃止を原則とする。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	井田診療所医師住宅		No.	48
大分類	08医療系施設			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無

担当部署名	健康福祉部医療政策課
ブロック	温泉津
地区	井田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
								①廃止 済
『該当する』を 選択した理由								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2020年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	2020年度 井田診療所の機能をまちセンに移転したことに伴い解体		
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 37 年
建物延面積	59.62 m ²
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	土石流警戒区域内に立地

関連条例等	-
設置(目的等)	-
適正化計画上の実施方針	近隣他施設内への機能移転を行い、現施設は廃止を原則とする。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							